

# 支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

## 東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

### ハーモニカに魅せられて ～アンサンブルで日本縦断ハーモニカ演歌コンサート～

子どもの頃からハーモニカに魅せられた宇佐美進さん（吉田）は、仕事で県外に転出してからも、ソロ活動やバンドなどでハーモニカ演奏を続けてきました。

昭和58年には視覚障害者へのハーモニカ指導をきっかけに、それまでのメロディーのみの演奏方法を変え、自らの編曲による音に厚みを持たせたハーモニカだけの合奏団（バンド）を立ち上げました。この成功により、教え子からリクエストの多い歌謡曲を中心に編曲した楽曲を集めたCDと譜面付き編曲集を発行するなど、これまでにCD 5枚と編曲集3冊をリリースしています。

▶宇佐美進さん



また平成12年には、中央公民館で「里帰りハーモニカコンサート」を開催、多くのファンの好評を博しました。退職した現在は西条市に戻り、公民館等でハーモニカ師範・公認指導員として指導に当たる傍ら、昨年は総合文化会館で歌手・森昌子さんと日本初となるハーモニカ競演コンサートを実現しました。さらに平成20年からは、東京・大阪など全国各地を巡る日本縦断ハーモニカ演歌コンサートを行い、今年は名古屋での開催も予定されています。ハーモニカの音色をより多くの人に親んでもらうという夢の実現に向けて、宇佐美さんは今日も頑張っています。（宇佐美さんのホームページ）  
<http://homepage3.nifty.com/usami/>



▶指導員としても活躍

## 丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

### 新たな特産品をめざして ～丹原産のタラノメ栽培～

丹原地区は、特産品のあたご柿をはじめとした果樹栽培が盛んな県下有数の果樹農業地域として知られています。しかしながら、近年の果樹の価格低下による収益の減少や農業従事者の高齢化などにより、耕作放棄地が増加し、近隣農地への悪影響や景観の悪化が懸念されています。

この問題を解消するための一つの方策として、3年前から新たな耕作物としてタラノメのふかし栽培を始めました。

これは、3メートルほどに成長したタラノキの芽を、1芽ごとに穂木として切断し、

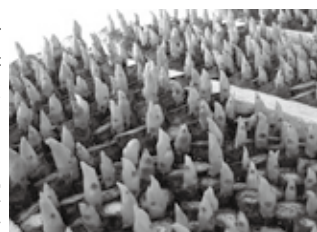


▲大きく育った穂木となるタラノキ

ハウス内で芽出し栽培（水耕栽培）を行う方法で、果樹栽培と労働力が競合しない秋冬の期間の栽培であることや、果樹栽培に比べて軽作業が多く、高齢者や定年帰農者が容易に取り組むことができることなどから、農閑期の農業収入として注目されています。

1月下旬から4月下旬ころまで収穫できるタラノメは、松山市や京阪神などの市場に出荷され、高く評価されています。

春の訪れを告げるだけでなく、丹原地区の新たな特産品として大きな期待が寄せられているタラノメ。皆さんも、ぜひご賞味ください。



▶出荷直前のタラノメ

## 小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

### ご存知ですか？ 小松中央公園スケートボード場 ～若者の熱い思いが届いた！～



▶本格的な施設が自慢

「大好きなスケートボードをしたいけれど場所がない」という地域の若者の署名活動がきっかけとなり、木製のスケートボード

用具などが整備されたのが平成14年。

その後、大会開催など愛好者に大いに利用されていましたが、用具の損傷が激しくなったことから、平成15年4月それまでの場所の北側にコンクリート製の小松町スケートボード場が新装オープンされるに至りました。

新しいスケートボード場は、クォーターパイプや複合バ

ンク、カーブボックスなどを備えた、四国では珍しい公式競技が可能な本格的施設です。伊予小松ライオンズクラブ主催の大会は毎年春の恒例行事となっており、今年も5歳から38歳までの39人が参加し4月3日に開催されました。中には親子でのエントリーもあったそうです。選手の皆さんは日ごろの練習の成果を発揮し、さまざまな技を繰り出して、会場を訪れた多くのギャラリーからは大きな歓声が上がっていました。

あなたもチャレンジしてみませんか？

- 使用時間 9:30～17:30  
(10～3月は17:00まで)
- 使用料 無料（要申込）
- 問合せ

石鎚山ハイウェイオアシス館  
TEL0898-76-3111

